



仕事も育児も楽しく 両立できるのは、 ”総務省”だから

情報流通行政局放送技術課
映像計画係長

服部 綾夏 HATTORI Ayaka

令和 3年 4月	総務省採用
	総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課重要無線室
令和 4年 6月	同 国際戦略局技術政策課
令和 4年 9月	産休・育休
令和 5年 6月	総務省情報流通行政局放送技術課映像計画係長
令和 6年 7月	現職

日々学びの冒険

“放送技術って何ですか？”
ほとんどの人は放送技術と聞いてもピンとこない
と思います。私自身、放送技術課に所属するまで、放
送技術の知識は0に近いものでした。放送技術課は
その名の通り、放送に使われている技術を扱う部
署です。私はその中でも、新しい放送技術の法令を
作る仕事をしております。法令を作るためには技術
を深く理解する必要がありますが、私にとって放送
技術を1から学ぶのは冒険そのものでした。ところ
が、身近にある放送がどうやって全国に届けられて
いるのか、その技術を深く学ぶことはとても楽しく、
刺激的でやりがいがあります。
放送技術だけでなく、情報通信に関する技術は
日々進化しており、知らないことだらけです。それを
知らないままでは終わらせず、日々学びながら仕事に
反映して自分を成長させることができる、総務省は
そんな学びの冒険ができる環境が整っています。

仕事も育児も

現在、私はフルタイム共働きで 2歳の娘を育てて
います。若手のうちに約半年の育休を取得し、復帰

後に育児をしながら慣れない仕事を両立できるの
か、不安な気持ちもありました。そんな不安とは裏
腹に、職場の方々は育児を経験している人や育児
に理解のある人ばかりです。誰か1人が休んでも仕
事が回るように情報共有を徹底して助け合ってい
ます。
また、私は、楽しく仕事と育児をするために時間
に余裕を持つよう心がけています。日によって勤務
時間を短縮・延長できるフレックスタイム制、勤務
時間帯を変更できる早出遅出勤務や休憩時間短
縮などの制度を活用することで、勤務時間は仕事に
没頭できるとともに、家では娘と遊ぶ時間ができて
メリハリがついています。
助け合える職場で、柔軟な勤務時間制度を使え
る、“総務省だから”こそ、仕事も育児も楽しく両立で
きています。

就職先として

知らない情報通信技術を学びながら自分を成長
させたい方、仕事とプライベートを両立させたい方
に、総務省は就職先としておすすめです。
まずは、説明会やインターンシップにお気軽にご
参加いただき、総務省の雰囲気を感じてみてくだ
さい。



家族で北海道旅行



外務省在サンフランシスコ日本国総領事館
領事

有村 祐輝 ARIMURA Yuki

平成 26年 4月	総務省採用
	国際戦略局技術政策課
平成 28年 7月	同 大臣官房総務課
平成 29年 7月	同 総合通信基盤局総務課総括係長
平成 30年 8月	同 総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室システム開発係長
令和 元年 7月	同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課企画係長
令和 2年 8月	内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター参事官補佐
令和 4年 7月	現職

シリコンバレーから
日本を支える
～最先端テクノロジーの最前線～

私は現在、米国の在サンフランシスコ日
本国総領事館において領事として、シリコ
ンバレーのテクノロジー動向調査や日本
企業支援を担当しています。シリコンバ
レーは、半導体、コンピューター、インター
ネットサービス、SNS などの様々な革新
技術を生み出してきた地であり、近年では
生成AIがここから生まれ、世界中に計り
知れない影響を与えています。このような
最新技術の動向を把握することは、日本
政府全体にとって非常に重要です。
このため、私は日々シリコンバレーの
ビッグテック企業、スタートアップ、大学な
どの関係者と積極的に交流を行い、AI、サ
イバーセキュリティ、衛星通信、製造業な
どの幅広い分野における最新技術の動向
を追跡しています。そして、得られた情報を

総務省のみならず関係省庁にも広く伝
え、日本の政策立案に役立ててもらう役
割を担っています。シリコンバレーの最先
端テクノロジーの多くは情報通信技術を
基盤としており、総務省で培った知見が当
地での対話や関係構築に大いに活かされ
ています。
また、シリコンバレーで得た知識・人脈
は、総務省への帰任後の政策立案などの
糧になると確信しています。
総務省では、このような外部機関への
出向ポストが多数設けられており、私自身
もこのような経験を通じて大きく成長する
機会を得ています。最先端のテクノロジー
に関わりつつ、幅広く国際的な視野を養
える総務省で、皆さんとともに未来を創る
仕事ができることを楽しみにしています！

イギリスでの武者修行

私は現在、人事院の行政官長期在外
研究員として、1年目の昨年はブリストル
大学で公共政策学を、そして2年目はロソ
ンドンのクイーンメアリー大学にて経済学を
専攻しています。
2019年の入省時に配属された部署に
おいては情報通信分野の研究開発支援
に携わり、政策の運営に携わるやりがいや
大変さを感じるとともに、別部署では省全
体や通信インフラを担う局全体の窓口と
なつて国会対応等の調整を経験し、国が
動いていくダイナミクスを体験しました。
その中で、土工工学出身の私が今後行政
官として成長するために何が必要かと考
えた際、公共政策や世の中の仕組み(いわ
ゆる「文系」の学問)について学ぶ機会が
欲しいと思い、海外留学を志しました。

授業で紹介される概念や理論は、これ
までの業務経験で感じたことを軸として自
分事として捉えることができ理解が深ま
ると同時に、目の前の業務に必死だった自
分を一步引いた視点から振り返る貴重な
機会にもなっています。また、各国から集
まったクラスメートや同じ寮で暮らす友人
と話していると、学業面のみならず価値観
や風習の面でも様々な気づきを得ること
があり、総務省の行政官としてだけでなく
人間としての成長も実感する日々です。
経済発展の原動力として重要性が高ま
るICTを軸に、総務省では自身を成長させ
られる環境があります。興味のある方は
ぜひ総務省の扉を叩いていただき、一緒
に働くことができれば幸いです。